

9月16日 虫窪（虫窪老人憩いの家にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

【町内の課題など】

- 大雨の影響で土砂被害が多くあった。大規模な災害等が起こった場合、誰がどこに連絡すればよいのか。
⇒ 個人で役場の代表番号（61-4100）に連絡していただきたいです。災害等に係る内容は危機管理課、もしくは道路関係であれば建設課へ連絡をお願いします。
- 夜中でも連絡は可能か。
⇒ 24時間体制で守衛さんが常駐しているため、夜中でも連絡は可能です。
先日の台風の際には、危機管理課及び建設課の職員は常駐し、交代で夜間のパトロール等も実施していました。
- 現状では、仮復旧がほとんどであり、車は通れるようになっているが、その他の歩道や道路側溝にも土砂が入り込んでいる状況である。8月30日のような大雨が降れば、同様の被害が懸念されるが、最終的な復旧はいつ頃になるか。また、被害の全容を把握しているか。
⇒ 担当課でも現地を確認しているため、状況の把握はしています。しかしながら、把握していない箇所もあるかもしれないため、その場合は、危機管理課、建設課へ連絡をお願いします。
なお、町道であれば土砂を寄せるなどして車両の通行に支障がないよう対応済みです。なお、私有地の山林等から土砂が崩れている場合は、原則、所有者が対応することになりますが、町でも協力できることはないか、調査・検討を進めています。今後の復旧費用については、先日の議会で補正予算が認められたため、工事業者との調整等を行っており、優先順位を決めて対応しています。
- 所有しているミカン園等で約10数か所土砂が入り込んでいる状況。土砂等によって水路に影響が出ていたため、近隣の住民等とも協力し、ユンボ等を活用して対応している。それに加えて、イノシシ対策の柵やハウス等も土砂によって流されてしまったため、修繕等に苦慮している。また、国が所管している畦畔が崩れていることも課題になっている。
さらに、対応している水路の反対側の近所の方の所有地から畑に木々と約5m（30cmの厚み）のブロックの塊が4枚ほど落ちてきている。
この他にも今回被害があった慶林寺のあたりは町道でないため、町建設課からは対応

は難しいとの回答を受けているが、農道と町道の差が分からない状況である。

なお、土地所有者は以前、農家（畜産）をやっていたが、現在はやっていないため、お金の請求等は心苦しいので出来ない。国か町かは不明だが、崩れたブロックは約50年前に「構造改善事業」として整備されたものであると認識しているため、少なからず責任があると思う。町役場で対応してもらえないか。

- この件については、虫窪区長から産業観光課長に相談し、産業観光課が対応することになった。9月2日（月）に職員が現地を確認し、9日（月）には、早急な対応は難しいとの回答を産業観光課長から頂いている。今の話を聞くと民・民での対応なのか、町役場が対応してくれるのか不明である。建設課も現場を確認しているため、場所によっては、役場で対応できない箇所、あるいは早急に対応できない箇所もあるのかもしれないが、時間がかかっても優先順位をつけて対応していただけるとありがたいと思っている。現状ではどこまでの対策をしていただけるか状況もわからないため、住民としては不安になっている部分がある。
⇒ 後日私も現場を確認し、町役場が対応すべき部分もあることから、担当課に早急な復旧を指示しました。
- 町役場で被害状況をどのくらい把握しているか分からない。近所の崩れている箇所は、職員が現地確認に来ているが対応していない箇所もある。
また、民生委員をやっている方の家の入口でも崩れているがそのままになっている。
⇒ 後日私も現場を確認し、早急な対応を指示しました。
- 民有地であっても、こういった大規模災害の場合は、国の補助金等があるか分からないが出来る手法を考えてもらいたい。
⇒ 後日私も現場を確認し、担当課に確認のうえ、災害復旧のための手法を幅広く検討するよう担当課に指示しました。
- 人口減少対策の話になるが、虫窪は大半が、土砂災害警戒区域であるため、新規就農者含め人が入ってこないのが課題である。農家も担い手不足で耕作放棄地も増えているため、虫窪地区をつぶしてコンパクトシティにしていくのも1つの策ではないかと思う。
⇒ 虫窪を含めた富士見地区については、土地の有効利用のため、都市計画法に定められた手続き（地区計画）を進められないか、地区住民の皆様と町役場で検討を重ねています。

- みかん畑の被害状況を整理して、対応を検討していきたいと思う。黒岩地区では被害状況をマップにさせていただいた。虫窪でも作成していただけると、被害状況について町役場と地区で共通認識を図れると思うが、いかがか。
 - ⇒ 虫窪はエリアが広いので全てマップに落とし込むのは難しいところがありますが、建設課で被害状況を可能な限り地図に落とし込んでいます。
地区の皆様とこうして情報を共有しながら、復旧を進めています。

- 優先順位もあると思うので、早急な対応は求めているが、二次被害が起きないようにしてほしい。
 - ⇒ 二次被害が起きないように優先順位や状況を整理して対応しています。

- みかん農家が減ってきており、耕作放棄地が増えている。現状では、高齢化が進み、若い世代のみかん農家は2軒である。
 - 「港湾整備」に合わせ、漁業対策は力をいれていると思う。そのため、大磯のみかんを観光資源として活用するのであれば、農業者の担い手確保に向けた取組みや施策が必要である。農業対策についても同様に支援を検討してほしい。
 - ⇒ 都市計画の手続きも含め、長期的な視点のみかん農家の担い手も含めた対策も検討していきたいと思います。

- 「危険木伐採」の補助金を検討してほしい。相模原市、鎌倉市、湯河原町ではそれぞれ条件は異なるが20~30万円程度（上限設定、50%等）の補助金を出している。伐採費用は数十万円~数百万円がかかるが、少しでも補助があるとありがたい。
 - ⇒ 導入している自治体の状況を調べて検討していきたいと思います。

以上